

# 清水ヶ丘便り

S U W A S E I R Y O H I G H S C H O O L N E W S

vol.7 2004.10

編集・発行 長野県諏訪清陵高等学校  
教務(広報情報)係



|         |                 |
|---------|-----------------|
| 7月 2~5日 | 第54回清陵祭         |
| 10・17日  | 土曜講座            |
| 20・21日  | 基礎学力テスト(3年)     |
| 26~30日  | 夏期補習            |
| 8月 18日  | 宿題テスト(1・2年)     |
| 18・19日  | 校内模試(3年)        |
| 21・28日  | 土曜講座            |
| 9月 2日   | 第12回サイエンス・フォーラム |
| 6日      | 端艇大会            |
| 14~17日  | 第2回定期考査         |
| 18日     | 土曜講座            |
| 30日     | クラスマッチ          |

## 17年度前期選抜(自己推薦入試) 実施方法決まる

前期選抜(自己推薦入試)の実施方法が9月10日県教育委員会より一斉に発表されました。7月に各校の実施方法案が示され、ホームページへの掲載や中学校の先生方への説明会(諏訪地区7/23)、各校での入試説明会(本校7/31保護者も含め約100人参加、配付資料はホームページに掲載中)等により各方面からのご質問・ご意見をお寄せいただく機会を経て決定されました(本校の実施方法は案と変更ありません)。

募集の観点は概略、「本校での学習に必要な基礎学力があり高い志と強い意志をもって自らを高めるべく努力できる者で、Ⅰ学力、Ⅱ部活動・スポーツ、Ⅲ学術、のいずれかの分野で特に秀でていること」で、募集枠は定員の10%(Ⅰで約2/3、Ⅱ・Ⅲで約1/3)です。調査書、面接、小論文(文系、理系の2つ)を総合的に評価し選抜します。導入2年目を迎え、①募集枠を5%から10%に拡大、②募集の観点をより具体的に記述、③総合的に評価する際の「比重」と「評価項目」を発表(すべての実施校)、などの改善に努めました。

実施方法の詳細については本校ホームページ **入学者選抜** の項をご覧ください。11月に予定している中学校訪問でもご説明いたします。12月にはホームページに実施要項と志願理由書の様式を掲載しますので、ダウンロードしてください。

### ◇17年度前期選抜実施方法

| 学科 |    | 前期選抜（自己推薦型選抜）                                                                                                                                                                                                                         |                                                                     |
|----|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
|    |    | 募集枠%                                                                                                                                                                                                                                  | 募 集 の 観 点                                                           |
| 普通 | 10 | 本校での学習に必要な基礎学力（特に英語、数学、国語）があり、高い志と強い意志をもって自らを高めるべく努力できる者で、次のⅠ、Ⅱ、Ⅲのいずれかを満たすこと。                                                                                                                                                         | 「高い志」と「自らを高めたい」内容にふれながら、入学後の抱負を述べる。また、各募集の観点をどのように満たしているのか具体的に説明する。 |
|    |    | Ⅰ 学力について、調査書の「各教科の学習の記録」が特に優れ、かつ思考力、応用力に富む。学習意欲、知的探究心が旺盛で、入学後もより高度な学習に取り組む強い意思がある。<br>Ⅱ 部活動あるいはスポーツに優れた能力を発揮し、県レベル以上の大会やコンクール等において顕著な実績をあげ、入学後も発展させる強い意志がある。<br>Ⅲ 学術（学問・芸術）分野に優れた能力を発揮し、全国レベルの大会やコンクール等において顕著な実績をあげ、入学後も発展させる強い意志がある。 | 面 接                                                                 |
|    |    | ※いずれか1つの観点で出願すること。<br>※募集は、観点Ⅰが三分の二程度、観点Ⅱ、Ⅲが合わせて三分の一程度とする。                                                                                                                                                                            | <個人面接><br>志願理由書の内容のプレゼンテーションとそれに対する質問                               |
|    |    | 作文（小論文）                                                                                                                                                                                                                               |                                                                     |
|    |    | <小論文><br>中学校までの教科内容に基づき、基礎的な学力から思考力、応用力までをみる小論文を2つ出題する。<br>論文1：文系分野（国語、英語を主とし、社会も含む。）<br>論文2：理系分野（数学を主とし、理科も含む。）                                                                                                                      |                                                                     |

## この夏 清陵生 大活躍!!

猛暑中の声援、有難うございました。選手の皆さん、見事な頑張りお疲れ様でした。(詳しくは4頁をご覧ください)

夏の甲子園長野大会 準優勝

国体3位



岡谷市民新聞社提供



端艇部 高木慎也君

## 第1回学校評議員会が開かれました

地域との協調、愛される学校であってほしい、自治・自立の精神を大切にし、人間を大きくする教育を期待しているとの意見が出されました。また、清陵生の向上心の高さ、団結力の強さを評価していただくなど様々な立場、視点から貴重な意見が出され、充実した会となりました。(6月5日、7月26日)

平成16年度 学校評議員

宮坂 久臣 岡谷商工会議所会頭 宮坂 直孝 宮坂醸造(株)専務取締役  
山崎 壮一 諏訪商工会議所会頭 高橋 一彦 松本大学予備校校長  
林 尚孝 茨城大学名誉教授 内藤恵理子 城南小学校教諭  
佐久 隆明 諏訪中学校長

## ノーベル化学賞受賞 白川英樹先生をサイエンスフォーラムにお迎えしました。

課題探究発表会が開かれSSH3課程生徒の2年間にわたる研究成果が発表される一方、さまざまな「講座」や「サイエンスプログラム」も始まりました……。

### ノーベル化学賞受賞の白川英樹氏の講演



第12回サイエンスフォーラムは2000年のノーベル化学賞を受賞された筑波大学名誉教授の白川英樹氏をお招きし、9月2日、諏訪市文化センターにて行われました。全校生徒および一般参加者に「科学技術と社会」と題して熱弁されました。科学技術の進歩は負の側面があるとしつつも、

21世紀は「知の世紀」でありたいと締め括りました。

また、講演に先駆けてノーベル賞を受賞する功績となった導電性プラスチックを、授業で作るという体験実習を3年の一部を除き全校の生徒が体験しました。ガラスの上に黒く出来たポリピロールの膜に電気が通り、発光ダイオードが光るとあちこちで歓声が上がりました。



次のサイエンスフォーラムは12月18日 文化センターにおいてハワイのすばる天文台をTV回線で結び、宇宙シンポジウムを開催します。

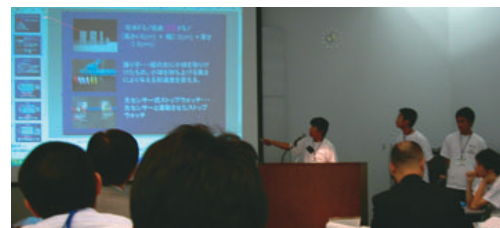
| 月/日    | SSH 実施記録                                                          |
|--------|-------------------------------------------------------------------|
| 6/19   | 化学SP 「化学研究室訪問」(信大理学部) 1年希望者                                       |
| 7/ 4   | 課題探究発表会 (小体育館) 3年S講座                                              |
| /16    | 第7回運営指導委員会                                                        |
| /18    | 物理講座 「静電気の発見から分子エレクトロニクスへ」<br>東工大大学院理工学研究科岩本教授 希望者                |
| 31,8/1 | 青少年のための科学の祭典(信大理学部) 理科系4クラブ参加                                     |
| 8/2-4  | 生物SP 「遺伝子操作体験実習講座」<br>(信大ヒト環境科学研究支援センター) 2年S講座                    |
| /9,10  | 化学SP 「分析技術体験」(エプソン分析 リサーチセンター) 2年S講座                              |
| /10,11 | SSH生徒研究発表会【文部科学省主催】(東京)<br>〈ドミノの速さの研究〉チーム参加                       |
| /24    | 国立野辺山電波天文台特別公開参加 天文気象部                                            |
| /27    | 数学講座 「微分積分への招待」<br>信大理学部高木助教授 3年S講座科学ゼミナール                        |
| 9/ 2   | 第12回サイエンスフォーラム 「科学技術と社会」(諏訪市文化センター)<br>筑波大 白川英樹名誉教授 全校            |
| / 4    | 物理SP 「おもしろ物理実験室」<br>(信大理学部) 武田教授/天児助教授/長谷川助手 2年S講座                |
| /25    | 物理SP 「エレクトロニクス入門講座/デジタル信号処理の基礎」<br>(諏訪東京理科大) 宮澤教授/平田講師/遠藤助手 2年S講座 |

SP:サイエンスプログラム

### 課題探究発表会開かれる

7月4日に清陵祭の一般公開に合わせて2年次より取り組んだ3年生S講座の「課題探究の発表会」が開かれました。「課題探究」は特に理数を重点的に学ぶために開発・導入したSSH課程独自の取り組みです。毎週2時間の科目「スーパーサイエンス」において、グループごとに分かれて実験・観察から考察・まとめまで、自分たちの手で試行錯誤を繰り返しながら取り組んできました。発表は10のテーマに分かれ研究してきた成果をプロジェクターなどを使って発表しました。

生徒たちは課題探究を通して、「科学に対する興味・関心」がより深くなった。「科学的なものの見方ができるようになった。」と感じ、また、互いに取り組む姿勢から刺激を受け、仲間同士で協力することの素晴らしさを学んだようです。



### 全国でも発表

この中から「ドミノの速さの研究」が本校の代表として8月に東京で開催されたSSH生徒研究発表会(文科省主催)でも発表しました。様々な間隔や初速度におけるドミノの倒れる速さを測定し、間隔0.9cm付近が最速となることを突きとめました。また、次のドミノが倒れる時の力の働きなどを考察しました。

### サイエンスプログラムや連携講座も本格始動

外部講師による「連携講座」と大学や企業に出かけて実験や実習をする「サイエンスプログラム」も、夏休みを挟んで本格的に始まりました。本年度は「連携講座」に33種類、「サイエンスプログラム」は10種類の計画を立てております。生徒の理解度については未履修分野もあつてか難しいという声もありましたが、興味・関心を含む感想については概ね好評で、参加した生徒達は意義があったと高く評価しています。



9/4 おもしろ物理実験室

### 今後の主なSSH事業

| 日時    | 区分    | 内容                                  |
|-------|-------|-------------------------------------|
| 10/16 | 数学講座  | GPSのアルゴリズム(エプソン) 希望者(他校生も可*)        |
| /22   | 数学講座  | シミュレーションと数学(エプソン) 3年S講座 (第2回目は11/5) |
| /30   | 生物SP  | 昆虫の進化と体制(信大理学部) 2年 2年S講座            |
| /30   | 物理講座  | 物理の世界/宇宙の進化他(信大理学部) 1年希望者           |
| 11/27 | SF関連  | 国立天文台ハワイ観測所の遠隔TV授業                  |
| 12/18 | SF#13 | 宇宙シンポジウム《演題未定》(東海大・国立天文台・ハワイ観測所)    |

この他1年生理系には、10月から始まる授業「ときめきサイエンス」や土曜講座において数学、理科のいろいろな講座が予定されています。

\*第1回高校生自然科学講座(県教委「学び」創生プロジェクト事業)  
\*原則としてすべて公開しています。参観申込みは、ホームページSSHコーナーをご覧ください。

今春の卒業生から、現在の様子など随想を寄せてもらいました。

花岡 美智 (平成16年3月卒業) 東京芸術大学音楽学部楽理科



「チャカチャカ、ピー、ピー」サンバパーティーの演奏に先導されて上野の森にみこしが繰り出す・・・私の通う東京芸術大学では9月10日から3日間文化祭が行われました。毎年1年生を中心に、音楽学部と芸術学部の各々がグループを組み、みこしとはっぴを作ります。デザイン、制作の全てを自分達でやり、出来栄を他の課と競うため、かなり力が入ります。今年は、私達楽理科と工芸科による作品が優勝し、文化祭後に一般の商店に買い取られることになりました。また、文化祭中の演奏会や展示発表も、それぞれの団体や個人の日々の活動が反映され、興味深いものが沢山ありました。私自身も、文化祭実行委員会演奏課として主に音楽学部の演奏会の企画、運営の手伝いをしたり、作曲科の友人の作品に出演したりと、色々な演奏に関わることができました。

さて、普段の私の大学生活について。私の所属している楽理科は、各自が興味を持った音楽や作曲家、演奏家、楽器、音楽史、応用音楽などについて研究する学科です。1年生である私は現在、専攻を決めていく前段階として、必要となるであろう音楽史や音楽理論を学び、初級演習の名の下に資料検索や楽曲分析を行っています。自分ひとりで興味がある事柄だけを追求していたら知ることがなかったであろう事実遭遇したり、特に音楽や歴史に関する考え方については授業中に教授や他生徒とディスカッションをする中で発見することが多く、とても興味深いです。と、ここまでだと楽理科は机上での作業が多い、閉ざされた印象がありますが、自らの働きかけ次第で、他の科の生徒や学科の先輩とも色々なところで関わることができます。語学講座やソルフェージュ、和声といった授業は他の科と一緒にし、声楽科や器楽科の友人の演奏の伴奏をすることも多いです。また、私のとっているロシア語や体育の授業は美術学部の生徒とも一緒に。同じ芸大内にいても、それぞれの学部、学科によって様々な特色があり、色々な考え方

をもった人と出会えて楽しいです。

同じ楽理科の先輩との交流を通しては、更に多くの音楽を通して出会いを経験でき、学ぶことが多いです。例えば私は、先輩の呼びかけで8月中旬から下旬にかけて、群馬県草津町で行われる音楽祭にスタッフとして参加しました。私はスケジュール係として参加したのですが、国内外で活躍する多くのプロデューサーや、そのレッスンを受けにきた生徒と出会いました。国が違えば、音楽だけでなく日常の色々なことへの考え方も異なるのは当然で、そのような中で日々のスケジュールを組み、リハーサルやコンサート、レッスンを進めていく大変さを実感しました。けれども同時に楽しさも感じました。今後は、芸大の院生によるオペラ公演の手伝い等をする予定もあり、先輩と接触し、紹介してもらわなければ知らなかったであろう世界に踏み込めることを楽しみにしています。

今まで述べてきた文化祭、他の科の生徒との交流、先輩を通して知った音楽祭での経験を通して思うことは、大学に入って随分音楽に対する考え方が変わり、研究するにせよ自ら演奏するにせよ、音楽へのアプローチの仕方が変わってきたということです。今後も多くの人と関わり、その結果出会うことになるであろう音楽や人々に興味を持ち、視野を広げていきたいと思いますし、今の大学生活にはその可能性が十分にあるように思います。清陵高校時代にふとした偶然で吹奏楽に出会い、そこで色々な音楽や仲間、先生に出会ったことによる私の進路選択への影響はとても大きかったと思います。そのことが今の音楽に関する生活、そしておそらく今後の様々な出会いにつながっていくであろうことを思い出し、大切さを実感し、更なる出会いを求めて勉学を進めていきたいと思っています。

## 清陵の百年 第2回



湖周マラソン



科学会の展覧会

第2回は明治時代を見ます。明治に比べ何となく明るい感じのする中で、清陵の骨格が出来上がっていきます。2階建校舎・理科実験棟・雨天体操場などが新築され、校地・校庭を広げて整備が進みました。この時期清陵発展の根幹となった素晴らしい職員が大勢在職し、独特な授業を展開して大きな影響を与えました。職員と外部の科学者から刺激されて、大正11年に「科学会」を設立し、物理・化学等理系の8つの部に分かれて多くの生徒が現在の受験勉強と異なる自主的な研究や調査、秋の展覧会に青春の情熱を傾けました。「科学会」の活動は昭和10年代前半までが全盛で、高度な研究内容の「科学会誌」が発行されて活動とともに大変注目されました。三澤勝衛先生は、フィールドワークを重視した授業を行って「科学会」に大きな影響を与えました。また、太陽黒点を継続して観察し、その偉業を継承して現在天文気象部が観測を続けています。運動部の活動も盛んでしたが、野球部等の特定の部の生徒だけの活動でなく、全員が運動をしようという意見が学友会の中に出てきました。このような雰囲気背景に大正4年に第1回湖周マラソンが行われ、途中4回中止された以外は毎年欠かさず行われる伝統行事となっています。

## 大学見学会に多数の生徒参加

貸し切りバスによる大学キャンパス見学会が夏期休業中の8月1～3日、9日にかけて実施されました。

1日が信州大学、2日が東京大学・東京工業大学・早稲田大学、3日は、はじめに東京外国語・東京芸芸、東京農工、一橋、横浜国立の各大学を4つのコースに分かれて見学し、最後に全コースとも東京都立大学を見学しました。9日は遠路、千葉大学（看護学部と本部）まで足をのばしました。参加生徒は3年生主体ですが1・2年生も交えて総勢のべ67名、引率は3年のHR担任が行いました。一昨年も同様の行事が行われましたが、今年はさらに訪問大学数が大幅に増えてさらに実施日も分散の形をとりました。一橋と信州大学は当日行われていた大学側主催のオープンキャンパス参加の形でしたが、それ以外はこちらから特別にお願いをして実現の運びとなりました。東大、東京工業大、東京農工大などは本校のOBの先生がこころよく引き受けて下さり、時間も忘れるほど充実した見学となったようで、参加生徒に深い感銘を与えて頂きました。このような行事は生徒の進路実現のために非常に有用ですが、3年でなく1・2年で、という声も多く聞かれました。数々の反省もふまえて来年度以降同様行事の企画の上で参考にして頂ければ幸いです。最後に今回の行事の実現にご尽力



千葉大学にて

頂きました、林東京清陵会会長さんはじめ関係された方々と後援いただいた本校同窓会およびPTAに対し、この紙面をお借りしまして厚く感謝申し上げます。

# 学友会 コーナー

## 清陵祭が終わりました

7月2・3・4・5日と第54回清陵祭が盛大に行われました。多くの方に楽しんでもらいとても楽しく、清陵らしい4日間でした。

「我」ってテーマになったとき、やっぱり清陵生は何をするにも自分自身（我）で動き、そのなかで考え、意見を交し合う。そういうのが本当の清陵生だと思うから、そんなことが第54回清陵祭でできたらいいなって思いました。

なにかに向かっていく清陵生ってのはすごいもので、その一人一人の力の大きさに感動しました。またそれが一つとなり、とても大きなものができあがったと思います。

今回の清陵祭を実行委員長として迎えられて本当によかったです。この第54回清陵祭がみんなの心の中のほんの片隅でもいいからあり続けてくれたら、実行委員長をやって本当によかったし、うれしいです。（実行委員長 佐藤 圭一）



## 端艇大会が行われました

清陵の伝統行事の一つ、端艇大会が行われました。当初は台風の影響も考えられていましたが、当日は最高の端艇日和となりました。結果は以下のとおりです。

男子… ① 3-4 ② 3-1 ③ 2-6

女子… ① 3-4 ② 2-2 ③ 3-1

混合… ① 3-2 ② 3-6 ③ 3-3

次は秋季クラスマッチがあります。昨年と競技が大幅に変わりました。クラスが一致団結して多に楽しみましょう。



### <主な大会結果>

○全国高等学校野球選手権大会 長野大会 準優勝

○全国高等学校総合体育大会出場

端艇 男子クオドルプル（準決勝5位）

女子クオドルプル（敗者復活3位）

男子シングルスカル 3年 高木慎也（準決勝進出）

水泳 女子背泳200m 2年 林 あゆみ（予選2組5位）

○国民体育大会出場

端艇 男子シングルスカル 3年 高木慎也（3位）

【お詫び・訂正】 VOL.5(2004.3発行)新人戦の結果  
水泳部 林あゆみ 県大会2位（200m背泳ぎ）県大会3位（100m背泳ぎ）

## クラブ紹介-6

### ～音楽部～

音楽部は現在、女子6名、男子3名の部員で混声合唱に取り組んでいます。

合唱といっても歌う曲は様々で、ルネサンスの宗教曲や黒人霊歌・ポップスや現代曲まで、幅広いジャンルに挑戦しています。主な



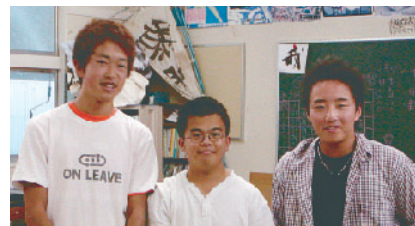
発表の機会としては、4月の新入生歓迎会、7月の清陵祭、10月の諏訪地区合同音楽祭、12月のクリスマスコンサート、2月の県アンサンブルフェスティバルがあります。

毎日の活動は、ストレッチ・発声の基本練習から始まり、一つ一つの曲を丁寧に完成させていきます。

合唱をするには少々人数不足であることは否めませんが、その分個人の声を大切に曲作りを心がけ、日々歌声を響かせています。

## 新役員の紹介

後期新役員が下記の表のように決まりました。そこで、新三役の皆さんに学友会への意気込みを聞いてきました。



### 新学友会会長…2年5部 岩波 薫

後期学友会の舵をとります会長の岩波薫です。諏訪清陵後期学友会は、会員全員の積極的ジョインと積極的アクトでできる活動をしていきます。会員皆さんの全員のご協力をよろしくお願い致します。

### 新学友会副会長…2年1部 酒井 悠佑

後期学友会副会長になりました酒井悠佑です。会長を精一杯サポートし、よりよい学友会を作りたいと思いますので、会員みなさんのご協力をお願いします。

### 新学友会副会長…2年2部 長田 寛史

後期学友会副会長になりました長田寛史です。後期はさまざまな行事等ありますが、会長、会員の皆さんと協力してよりよい清陵を作りたいと思いますので、よろしくお願いします。

| 学友会本部    |         |       |         |
|----------|---------|-------|---------|
| 会 長      | 岩 波 薫   |       |         |
| 副 会 長    | 長 田 寛 史 | 副 会 長 | 酒 井 悠 佑 |
| 委員長（責任者） |         |       |         |
| 協 議      | 那 須 将   | 端 艇   | 大 森 詳 子 |
| 執 行      | 牛 山 俊太郎 | 保 健   | 門 脇 文 絵 |
| 選挙管理     | 飯 山 創一郎 | 放 送   | 小 池 真 樹 |
| 会 誌      | 佐 藤 絵里奈 | 新 聞   | 小 澤 麻実佳 |
| 清 美      | 花 岡 直 樹 | 書 記   | 北 原 咲 希 |
| 文 化      | 酒 井 遼 太 | 会 計   | 上 原 紗 織 |
| 図 書      | 宮 坂 未沙希 | 監 査   | 鎌 倉 史 徳 |
| 部 活 動    | 牛 山 さゆり |       |         |

■ ご意見ご感想をお寄せ下さい ■

長野県諏訪清陵高等学校 〒392-8548 長野県諏訪市清水1-10-1 tel.0266-52-0201 fax.0266-57-2426  
H.P. <http://www.nagano-c.ed.jp/seiryohs> e-mail [seiryohs@nagano-c.ed.jp](mailto:seiryohs@nagano-c.ed.jp)